

陸羽東線の利活用促進に関する古川地域懇談会（概要）

1 開催日時 令和4年11月14日（月） 午後7時～9時

2 開催場所 大崎市地域交流センター2階 研修室1・2

3 出席者

（1）構成団体

No.	団体名	出欠
1	古川まちづくり協議会	○
2	志田東部地区振興協議会	○
3	志田中部地区振興協議会	○
4	西古川地区振興協議会	○
5	東大崎地区振興協議会	○
6	高倉地区振興協議会	○
7	古川商工会議所	○
8	おおさき青年会議所	○
9	みやぎ大崎観光公社	欠
10	大崎市工業会	○
11	古川高等学校 PTA	○
12	古川黎明高等学校 PTA	○
13	古川工業高等学校 PTA	欠
14	古川学園高等学校 PTA	○
15	大崎中央高等学校 PTA	○

（2）市側

No	役職	氏名	出欠
1	副市長	尾松 智	○
2	市民協働推進部長	伊藤 文子	○

4 事務局 市民協働推進部まちづくり推進課長 中鉢豊，同課長補佐 三澤香苗，
同主幹兼係長 千田貴憲，同主事 佐々木弥祐

5 会議の概要

（1）開 会

- ・事務局が会議を進行。

（2）あいさつ

- ・尾松副市長

(3) 出席者紹介

- ・名簿に基づき事務局より紹介。

(4) 説明

- ①陸羽東線の利活用促進に向けた検討について
 - ・資料1, 参考資料2, 3に基づき事務局より説明を行った。
- ②地方鉄道の現状について
 - ・資料2-1, 2-2に基づき事務局より説明を行った。
- ③今後の進め方について
 - ・資料3に基づき事務局より説明を行った。

(5) 意見交換

・古川まちづくり協議会

課題を探るために、陸羽東線に「この期間は乗ってみよう」という期間があっても良いと思う。

・大崎中央高等学校 PTA

地域住民に陸羽東線の問題を理解してもらうための機会の設定や、理解してもらうための方策が必要。

・志田東部地区振興協議会

どうしたら鳴子温泉まで利用する乗客を増やせるか意見を出し合いたい。他地域の温泉郷の策（ビジネスパック）を参考にするなど、誘客に繋げる方法を考えていきたい。

・古川学園高等学校 PTA

陸羽東線を利用するのは市外から通っている利用者から意見を集めてはどうか。学生だけでなく色々な方の意見を募るのも良いと思う。

・志田中部地区振興協議会

陸羽東線を存続させるためには、観光と鳴子をメインにしてどのようにしていくかが、一番の問題だと思っている。

・古川黎明高等学校 PTA

遠くから通学している学生にとっても陸羽東線は必要なものであるので広く意見を募ることは非常に良いと思う。通学だけでなく、観光による沿線の活性化、陸羽東線の利用促進を考えていけたらよい。

・西古川地区振興協議会

陸羽東線の問題を、地域住民に自分事として捉えてもらえるようにすることが大切である。

・古川高等学校 PTA

沿線の高校に通っている生徒の利用は高いと思う。駅やまち自体が静まりかえっていればそこに人は動かないと思う。大崎市にすでにある観光資源を活用して、魅力ある住みやすいまちづくり、そのアピールが必要なのではないか。

- ・ **東大崎地区振興協議会**

駅のトイレや駐輪場の街灯など、駅の施設整備が必要。駅によっては、こ線橋があり、高齢者が利用しにくいという声がある。

- ・ **大崎市工業会**

鉄道と工業は密接。一度鉄道が無くなってしまったら二度と復活は難しいと思うので、存続してほしい。今後の **JR** の運営に見通しが立つようなアイデアを出せるよう意見交換していきたい。

- ・ **高倉地区振興協議会**

古川から鳴子温泉方面は観光客の利用が多いが、通勤・通学利用者、通院利用者は減っているのでは、交流人口を増やすことが必要ではないか。

- ・ **おおさき青年会議所**

陸羽東線は通勤・通学、観光に重要なインフラであり、陸羽東線は地域の原風景である。陸羽東線は県境を跨ぐことから、山形県の沿線地域住民とも意見交換ができれば有意義ではないか。

6 その他

- ・ 会議の公開範囲については、次回以降も意見交換を除いた部分とした。
- ・ 事務局より資料及び議事の概要について後日市ウェブサイトにて公開することの報告があった。

7 閉 会